



本寄附講座は、株式会社日水コンのCSR活動の一環として取り組んでおり、在学生2年生以上を対象とするオープン科目(商学部以外の学生も受講可能)です。2021年度の講義は、4月から7月の期間中に全15回(オンライン講座)、講師は社内講師の他、行政や民間企業等から上下水道に携わる多くの専門家を外部講師としてお呼びしました。

## シラバス



- 第1回(4月6日) : ガイダンス 本講義の目的と概要
- 第2回(4月13日) : 「水」概論
- 第3回(4月20日) : 日水コンの「水」ビジネス
- 第4回(4月27日) : 水環境と水コンサルタント
- 第5回(5月11日) : 日本の下水道～軌跡と挑戦～
- 第6回(5月18日) : 世界の水道・下水道
- 第7回(5月25日) : 令和時代の新たな水ビジネス
- 第8回(6月1日) : グループワーク～あなたの水回り、困ったあるある～
- 第9回(6月8日) : 水ビジネスメーカー
- 第10回(6月15日) : 水ビジネスと金融機関
- 第11回(6月22日) : 「水」ビジネスの疑問解決
- 第12回(6月29日) : 日本の水災害
- 第13回(7月6日) : 水ビジネスのひろがり
- 第14回(7月13日) : 水ビジネスの可能性
- 第15回(7月20日) : 水ビジネスへの期待/課題レポート最優秀・優秀レポート発表・講評、本講座の講評

## 講義トピックス

### 第2回 「水」概論

水道概論では、文系理系を問わず水道に関心を持ってもらえるように、料金徴収票の記載の内容から水道を理解するうえで注目すべき点や、規模の経済の概念を使った取組(広域化)があること等を説明しました。下水道概論では、下水道事業における地方公営企業会計の仕組みを、イラストレーションを使い説明しました。

### 第3回 日水コンの「水」ビジネス

当社社長が「水コンのこれまでとこれから」として、当社の歴史を振り返りつつコンサルタントとして担ってきたことを紹介し、事業の関り方の変化、今後の方向性を語りました。後半は、若手社員2名が日水コンの仕事の魅力ややりがいを語り、最後に「学生だった頃の自分へ一言」というメッセージを贈りました。

### 第4回 水環境と水コンサルタント

まず持続可能な開発目標(SDGs)と水の関係を海外の水道事業を例に紹介し、次に基幹分野となる水道・下水道の理解を深めるために水循環における位置づけと水処理について、最後に水にまつわる環境・資源として、地球温暖化やエネルギーの問題も絡めて、水コンサルタントの守備範囲の広さを紹介しました。

### 第7回 令和時代の新たな水ビジネス

前半は鶴岡浄化センターの生中継により、ハウス栽培やアユの養殖の現場を見てもらいながら「BISTRO下水道」「じゅんかん育ち」の取組を紹介しました。後半はDX(デジタルトランスフォーメーション)とAI(人工知能)の水道・下水道分野での適用について、当社の取組を中心に紹介しました。

### 第8回 グループワーク～あなたの水回り、困ったあるある～

参加型の講義を行いました。前半はクイズ形式で水道や下水道の仕組み等の理解を深め、後半は上下水道の防災減災をテーマに、グループで当社若手社員のファシリテーターと様々な意見を交換しました。本講座はリモートで実施していますが、聴講するだけでなく参加して意見を交わらせる講義は、学生からも大変好評でした。

### 第11回 「水」ビジネスの疑問解決

各回の講義聴講後のアンケートに記載されていた疑問・質問に応えました。第8回までの100を超える疑問・質問に紙面で回答し、特に、質問の多かったテーマとして「水道料金」「ICT・AI」を取り上げ、最新情報なども交えながら詳しく解説しました。課題レポート作成に当たって疑問を解消できたと好評でした。

### 第12回 日本の水災害

仙台市職員の方による東日本大震災等の対応を紹介していただいた後、豪雨災害に対する取組を紹介しました。近年、頻発する豪雨災害は、学生にとっても身近で他人ごとではないと高い関心が集まりました。水道・下水道の役割の重要性を理解するとともに、当社の水に関わる仕事の幅広さも感じてもらえました。

### 第14回 水ビジネスの可能性・15回 水ビジネスへの期待

第14回は、当社の仕事を最前線で牽引している2名の社員が、水ビジネスの可能性を語り尽くしました。この講義を通じて水ビジネスに関心と興味をもった学生から、様々な視点と自由な発想でのビジネスアイデアのレポートが提出されました。第15回の最終講義では、水ビジネスへの期待として優秀レポート3名を表彰しました。